

研究協力をお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

難治性過活動膀胱に対するボツリヌス毒素膀胱壁注入療法の治療成績	
1. 研究の対象および研究対象期間	2020年4月1日から2023年12月31日に昭和大学病院泌尿器科で難治性過活動膀胱の治療を行った患者さん
2. 研究目的・方法	難治性過活動膀胱に対し既存の治療であるボツリヌス毒素膀胱壁注入療法を行なった際の、症状の改善の程度と奏功期間について、治療時に使用した排尿障害質問票のデータを用いて明らかにします。
3. 研究期間	昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2024年12月31日まで
4. 研究に用いる試料・情報の種類	治療前後に排尿障害質問票で得られたデータを用いて評価を行う。これまでに治療した患者に関しては、症状を把握するため診療のたびにアンケートを行ってきてきた。排尿障害質問表のうちOABSS、EQ-5D、ICI Q-SF、IPSSについて調査する。治療後6~12ヶ月までデータの収集を継続する。
5. 外部への試料・情報の提供	該当いたしません
6. 研究組織	研究責任者：昭和大学 氏名 前田佳子 研究分担者： 昭和大学 泌尿器科 准教授 押野見和彦

昭和大学 泌尿器科 助教(医科) 大水円夏

昭和大学 泌尿器科 助教(医科) 井上 達貴

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学

氏名：前田佳子

住所：品川区旗の台 1-5-8

電話番号：03-3784-8560